

なくてはならない存在を目指して。

お客さま・地域にとって



C O N T E N T S

ごあいさつ

2 経営理念・基本方針

4 地域貢献・金庫の概要

6 地域密着型金融推進計画

10 地域貢献活動・事業サポート

12 トピックス

14 組織体制

16 組織・役員一覧

19 金庫の考え

20 主要な事業のご案内

24 当期の業績

25 財務諸表

27 財務諸表に関する注記

30 報酬体系について

31 主要な業務の状況

33 不良債権などについて(単体)

34 預金に関する指標

35 貸出金に関する指標

38 有価証券に関する指標

39 有価証券の時価情報・その他の指標

40 金銭信託・デリバティブの時価情報

41 その他の指標

42 当金庫グループの主な事業の内容

43 連結財務諸表

45 連結財務諸表に関する注記

48 自己資本の状況(単体)

57 自己資本の状況(連結)

61 沿革

62 店舗一覧

63 ディスクロージャーの開示項目一覧

神戸信用金庫

本店 〒650-0035 神戸市中央区浪花町61番地
電話 (078) 391-8011

お客さま・地域にとって

なくてはならない存在を目指して。

ごあいさつ

平素は、格別のご支援とご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年も「2022神戸信用金庫の現況」を作成しましたのでご高覧いただき、当金庫へのご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

昨年も国内外における新型コロナウイルスの感染拡大が続き、わが国経済に大きな影響を及ぼしました。現状を感染症流行の初期と比べますと、ワクチン接種の進展やテレワークの普及など、いわゆるウィズコロナの生活が一層定着してきた一方で、中小企業の業況判断は上昇と下降を繰り返しており、業種や規模により回復の程度が異なる状況が続いております。

こうした環境の変化に合わせて、当金庫としましては、お客さまに対して、従来の資金繰りを中心とした支援に加え、販路の開拓・拡大、人手不足の解消など、本業支援に一層注力するなど、お客さまに寄り添った伴走型支援を強化してまいりました。お客さまの課題を自分のこととしてとらえ、一緒に立ち向かっていくことこそ協同組織である信用金庫にとって最も重要な役割、使命であると考えています。

当金庫を巡る経営環境も大きく変化してきていますが、こうした中であっても、当金庫は引き続き堅実経営を基本とし、自己資本の充実、リスク管理の徹底、収益力の強化に地道に取り組んでまいりました。その結果、2021年度の預金は3月の月中平残が初めて5,000億円を超え、税引き後の当期純利益も7億12百万円と増益を計上することができました。自己資本比率につきましても14.30%となり、国内で営業を行う金融機関に義務付けられている4%の水準を大きく上回っています。

2022年度につきましても、ウィズコロナが続く中、ロシアのウクライナ軍事侵攻、更には世界的なインフレ懸念の高まりなど、先行きの見通しは依然として不透明感が拭えません。こうした中、当金庫では、今年度から3か年間の中期経営計画を開始しました。今回の計画では「4つのC」、すなわち「Customers:お客さま」、「Community:地域」、「Change:変革」、「Challenge:挑戦」をテーマとして掲げています。こうした不透明な環境だからこそ、原点に戻り、お客さまや地域にとってなくてはならない存在となるため、自らを変革し挑戦し続けていくことで、お客さまに寄り添った伴走型支援を一層強化してまいりたいと考えています。

今後ともお取引先の皆さまの一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げまして、ごあいさつといたします。

2022年7月

神戸信用金庫
理事長 西多 弘行

